

事業名

輪！和！話！子どもの笑顔はじけるまち田原

目 標

ふるさとや自然を愛する心を育て、伝統文化や産業を守り、伝える。
学校の活動に参画し、学校を支える。

今年度の取組紹介

「田原の子どもたちは田原に住むすべての人で育てる」の考えのもと、毎日の「交通安全立哨指導」や環境整備活動「田原ふれあい夢花壇」、また地域活性化を目指した「田原体育まつり」等を実施しています。特に奉仕作業「どんごが丘整備作業」は地域と学校の繋がりをを感じる取組です。毎年夏休みを利用して児童生徒全員と保護者、



100名ほどの協力を得て学校の校内外の環境整備を行っています。

また田原小中学校は「文化遺産に学び、地域の歴史と伝統のよさに気づき、自分たちの町を愛し、



「郷土に暮らすことに誇りと喜びを感じることでできる子どもの育成」を目指しています。その目標を実現するひとつは、地域に伝わる文化や伝統を次世代に伝えていくことであると考えています。伝統芸能保存会を中心に、田原幼稚園、小中学校合同で祭文踊り・千本づき(餅つき)など地域に伝わる文化や伝統を子どもたちに伝えていきます。また地域の伝統産業を指導するためゲストティーチャーとして協力しています。

今年度のまとめ

田原は豊かな自然や伝統文化が地域の方の努力で現在にまで引き継がれてきている地域です。幼稚園、小中学校は「ふるさとや自然を愛する心を育てる」「地域に伝わる文化や伝統を守り伝える」「できるかぎり学校の活動に参画し、学校を支える」を目標に様々な活動に取り組んでいます。本教育協議会では将来的に地域を支える人材の育成が大切であると考え、田原幼稚園、小中学校の目標に沿って地域としてできることを考え、学校園を支援していきたいです。「田原が好き」「田原に誇りを持つ」子どもの育成に全力をあげます。

来年度に向けて

田原地区は以前から小中学校、幼稚園とともに歩んできた地域であり、さほど大きな変化は生まれていないかも知れませんが、地域には「学校づくりへの意識」が深まったように思われます。特に今年度は「双方向の連携」ということで地域と学校がさらに連携を深めることができました。具体的には公民館活動や地域の活動に積極的に参加する児童生徒の姿が見られました。また本年度より始まった小学校・中学校ともにコミュニティスクールとして活動しさらに地域との連携を深めます。

来年度に向けての課題として、この活動の目的、意義を理解いただくために広報活動をさらに進めることと地域の方に「協力から連携へ」「参加から参画」の意識をもっていただき、より多くの方が参加できる体制をさらに構築していく必要があります。

事業名

未来に夢つなぐ一貫教育TAWARA

目標

9年間の学びを再構築し、将来の自己実現につなげる

今年度の取組紹介

【小中一貫教育の特性を生かした取組】

～新しい学習プランの構築～

田原小中学校は前中後期の各ブロックの活動に重きを置き、上の学年にモデルをもつことを意識した活動を行いました。それは学校行事や各ブロックの行事を始め、日常生活のあらゆる場面で行っています。またブロックの枠をはずした異年齢集団による活動も豊かな心を育てる活動として定着しています。生徒が企画し、運営した文化祭「どん



ごが丘フェスティバル」も土曜日開催にし、地域の方々にも定着していききました。また体育の授業に組み入れられた学習支援ボランティアによる「剣道」の授業や、図書ボランティアによる図書室の整備なども定着してきました。さらに、幼・小・中合同運動会では、地域の方にも準備や片付けだけではなく競技の運営も手伝っていただきました。

今年度のまとめ

「9年間の連続性・継続性を生かした一貫教育を行い、豊かな心と確かな学力を身につけた世界にはばたく人間を育成する」を学校目標に田原小中学校は小中一貫教育を進めてきました。この目標を達成するためには学校での取組はもちろん、地域との連携を大切にしながら取り組むことは必要です。豊かな心の育成にあたっては今後も地域との連携は不可欠ですが、さらに学んだことを発信することで田原小中学校の取組を知っていただき、双方向の連携を大切に活動を考えていきます。また9年間の一貫した学習活動を具現化し、将来にむけての生き方を考えるうえでキャリア教育を意識した活動も取り入れました。

来年度に向けて

活動の広がり等を考える時、人との関わりの少なさが、将来の夢へとつながっていきにくいという小規模校ゆえの課題が浮かび上がっています。

そんな中、この事業を通して様々な人と接する機会を得て、話を聞くことで様々な価値観があることを知り、それが将来に向けて自分の進路を考えるきっかけとなりました。本年度も公民館活動への参加や学校行事を休日開催することによって地域の方が多数参加していただけるようになりました。次年度はさらに積極的に外に出て、活動の幅を広げることができるよう計画していきます。また生徒自身が地域との繋がり的重要性を感じ、児童生徒会を中心として様々な場面での交流を企画しようとしています。

事業名

田原大好き！未来にはばたけ田原っ子

目標

自然豊かな田原を愛し、地域に誇りを持たせる

今年度の取組紹介

子どもたちにも興味を持って取り組めるような体験的な活動を中心に、保護者・地域・お年寄りの方などから伝統芸能や、伝統文化について教えていただく機会をもっています。具体的には、幼小中合同運動会に向けての祭文踊りや祭文語りの練習、また本番での祭文踊り、新年集会での千本つきによる餅つき等が挙げられます。



小学校では総合的な学習の時間等を活用して地域の方にきていただき、様々な取組を行なっています。



例えば環境整備活動「ふれあい夢花壇」では地域の方とともに花を植え、花のことについていろいろ教わり、田原の産業でもある「お茶」についても地域の方には講師として、いろいろと教えていただきました。また「どんごが丘フェスティバル」では自分たちが学んできたことを地域の方に知ってもらおう発表を行いました。

今年度のまとめ

田原小学校は、まわりを里山と茶畑と田畑に囲まれた落ち着いた地域です。太安万侶の墓地があることでも有名であり、また全国で唯一「祭文」が残されている地区でもあります。室町時代に始まった「祭文」は奈良県の無形民俗文化財に指定されています。しかし、過疎化が進み、子どもたちの数も年々減ってきているのも事実です。

このような状況の中、学校においても、田原小中一貫教育校としての9年間の長いスパンの中で、子どもたちを見守り、地域とのつながりを大切に「ひと・もの・こと」の関わりを通して、ふるさとや自然を愛する心を育てる取組をすすめることが大切であると考えます。

来年度に向けて

これまでも様々な体験活動を通して、田原の伝統芸能や文化について教えていただくことが多かったですが、今年度は学んだことを地域に発信していく活動を展開することができました。そのことで田原のよさに気づき、文化や伝統を守り、郷土を大切にしていこうという気持ちが育ってきています。また児童自身が地域との繋がり的重要性を感じ、児童生徒会を中心として様々な場面での交流を企画しようとしています。具体的には公民館活動への参加や学校行事に地域の方が参画していただけるように、休日開催や出し物の企画が定着してきました。

テーマ

人とつながる キラキラ輝く 田原っ子

目標

地域の方々との交流を通して、意欲的に活動し、心豊かな幼児を育成する

今年度の取組紹介

◆地域と共にある田原幼稚園創立50周年記念事業

田原幼稚園創立50周年を迎え、実行委員として地域の方に参加していただき、幼児・地域の方々・参加していただく全ての方にとって、思い出に残る事業にしようと協力を得ました。

記念式典では、幼児のダンスや大きな手作りケーキを披露する機会を設けたり、記念コンサートでは、マリンバの演奏を聴き、本物の音にふれるという貴重な体験ができました。風船飛ばしでは、地域の方々・民生委員さん・小中学生・小中学校の先生方など、大勢の方にご参加いただき、大空に無数のカラフルな風船が舞い上がるという、この上ない感動を味わうことができました。

田原幼稚園の50周年を、地域の方々と共に盛大に祝うことができました。

◆千本つき（餅つき）

田原地域に伝わる伝統の餅つきの方法である『千本つき』を行いました。地域のゲストティーチャーの方に用具を持参していただき、つき方を教わりました。長い棒を杵にして、歌を歌いながら餅米をつき上げていきます。保護者の方にも参加してもらい、田原の伝統文化を直接体験することができました。



今年度のまとめ

創立50周年記念事業では、幼稚園の50年の歩みをリーフレットにして地域に配布し、運動会・どんごが丘フェスティバル・作品展・生活発表会などの様々な行事で、地域に発信してきました。地域の方からも「子どもたち、元気いっぱいやな」「こちらが元気をもらえるな」「僕も、田原幼稚園に通ってたんだよ。その時は…」など、幼児の活動を通して地域の方々に元気になってもらったり、懐かしんでもらえたりと、地域に支えていただきながら、園からも微力ながら様々な形で力になれることがあると、実感できました。また、子ども達が地域の方々の声を直に聞くことで、自分たちが暮らしている田原のことを、より一層好きになってくれました。

来年度に向けて

来年度は5歳児クラスのみになり、異年齢での交流を持つことがより難しくなってくるのが想定されます。引き続き、地域の方のご協力を得ながらの多様な体験を計画し、小中学校の児童・生徒・先生方との交流や連携も積極的に図っていきたいと考えています。園・家庭・小中学校・地域が一体となり、子どもたちの成長を手助けしていけるように努力していきたいと思います。